

第21回下田歌子賞

せんじんけんしょうじぎょう
先人顕彰事業

募集テーマ

『ゆめ
夢』

みなさんは、どんな夢を持っていますか？それを実現するために、今、何をしていますか？

第21回下田歌子賞は、今年も「夢」をテーマにして、エッセイと短歌を募集します。

エッセイの部

ぼく・わたしの夢や夢をかなえるために頑張っていること、考えていることなどを
書いて、応募ください。応募できるのはひとり1作品です。

<小学生の部>

800字程度(400字詰原稿用紙2枚程度)

<中学生・高校生の部>

1,200字程度(400字詰原稿用紙3枚程度)

応募作品の中から、小学生の部、中学生・高校生の部ごとに以下の賞を選びます。

さいゆうしゅうしょう ぺん
🏆 最優秀賞・・・1 編
ゆうしゅうしょう ぺん
🏆 優秀賞・・・3 編
かさく へん
🏆 佳作・・・5 編

おうめいきょうぎかいしょう とく どりよく ひょうか ひょうしょう
◆ 嚶鳴協議会賞・・・特に努力が評価できる作品を表彰
がっこうしょう おうぼ がっこう ひょうしょう
◆ 学校賞・・・作品をたくさん応募いただいた学校を表彰

じゅしょう しょうじょう としよ おく
受賞された9名には賞状と、図書カードを贈ります



短歌の部

募集テーマから思い浮かぶことを、5・7・5・7・7の31文字にぎゅっつつめて短歌をつくってみましょう。
応募できるのはひとり1首です。

応募作品の中から、小学生の部、中学生・高校生の部ごとに以下の賞を選びます。

さいゆうしゅうしょう
🏆 最優秀賞・・・1 首
ゆうしゅうしょう
🏆 優秀賞・・・1 首
にゅうせん
🏆 入選・・・3 首

がっこうしょう おうぼ がっこう ひょうしょう
◆ 学校賞・・・作品をたくさん応募いただいた学校を表彰

じゅしょう しょうじょう としよ おく
受賞された5名には賞状と、図書カードを贈ります



おうぼしめきり
応募締切

令和5年9月7日(木曜日)

◎応募の方法

作品の題名(エッセイのみ)、名前、学校名、学年、性別、住所、電話番号、下田歌子賞の募集を何で知ったかを書いた用紙を付けて応募してください。小学生・中学生の皆さんは学校の先生が説明された方法で応募してください。

◎発表・表彰式

令和6年1月27日(土曜日) 実践女子学園(東京都渋谷区)で行う予定です。

下田歌子先生ってどんなひと？



下田歌子肖像写真
(実践女子大学図書館所蔵)

下田歌子先生は今から168年前、江戸時代の安政元年(西暦1854年)に、美濃国岩村藩(今の岐阜県恵那市岩村町)で生まれました。名前は平尾鉦といいました。

こどもの頃から勉強好きで、7歳の頃には、俳句や和歌、漢詩をよんだりつくったりしました。明治時代になり、新しい政府になるとお父さんは東京で仕事につきます。16歳になった歌子先生もあとを追って東京へ行き、宮中(天皇や皇后が住んでいるところ)ではたります。

宮中でのお仕事をやめた後は、先生になって勉強を教えました。

イギリスに勉強に行き、身分に関係なく、女の子も男の子と同じ勉強をしているところを見た歌子先生は、日本に戻ってから実践女学校という学校をつくりました。そこでは身分に関係なく、多くの女の人が勉強でき、また、女の人も仕事を持ってはたらくことができるよう技術も教えました。

70歳を過ぎても教壇に立ち、多いときには5つの学校の校長先生をしていました。

歌子先生は、82歳で亡くなるまで、女子の教育のために一生けんめいがんばりました。

綾錦 着てかえらば 三国山 またふたびは 越えどぞ思ふ

(わたしは立派な人にならなければ、この三国山をふたび越えて、故郷の岩村には帰りません。)



歌子先生アイデア

◆日本初の制服

女の人でもはきやすい袴を考え、日本初の制服となりました。
現在でも、大学のお姉さんが卒業式で着ていますね。

◆女の人に体育を

女の人に体育なんて必要ないという時代に、体育の授業を
始めました。

◆机といす

いろいろなサイズの机といすを揃え、生徒の体の大きさに
あった机といすを選べるようにしました。

◆学生の髪型

髪をととのえるのに時間がかかる女の人のために、簡単に
セットで切る髪型を考えました。

参考文献：『マンガで見る日本まん真ん中おもしろ人物史シリーズ7 下田歌子』 企画／発行 岐阜県

保護者の皆様へ

下田歌子賞は、平成16年(2004年)の下田歌子先生の生誕150年を迎えるにあたり、旧岩村町(現、恵那市岩村町)と実践女子学園との共催で始まった公募賞です。毎年テーマを決めてエッセイを募集し、全国から多くの作品をお寄せいただいています。第8回からは短歌の募集も加わり、第21回目を迎える今年、「夢」をテーマにしたエッセイと短歌を募集します。

恵那市では、先人顕彰事業として、下田歌子先生をはじめ、佐藤一斎先生や三好学先生、山本芳翠先生などふるさとの先人の教えや生き方を尊重し、現代の自分たちに活かす取り組みに力を入れています。下田歌子先生は、苦しい生活を乗り越えて勉学に励み、そして、身分に関係なく、女性に教育と働く技術を身につける機会を与えました。まず、下田歌子先生について知っていただき、お子さんに「昔、恵那で生まれた人にこんな人がいたんだよ。」と是非伝えてあげてください。下田歌子賞がそのきっかけとなれば、それに勝る喜びはありません。

下田歌子賞についてのお問い合わせはこちらへ

〒509-7292 岐阜県恵那市長島町正家1-1-1 恵那市教育委員会 生涯学習課 「下田歌子賞」係
電話 0573-26-2111 内線 477

インターネットで詳細をご覧ください。

第21回下田歌子賞

